

## チャレンジ精神に火を付ける！～地域林業フォーラムを開催～

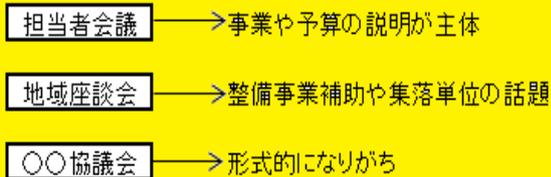
### 1 林業普及指導員としてなにができるか？

林業の振興は山村の振興に直結する課題であり、地方創生に向けて、林業ほどその可能性をもつ産業はないのではないのでしょうか。

地域の関係者間で問題意識を共有し、解決の方向性を議論し、さらに合意形成を図る、そのための環境づくりに取組んだので紹介します。

### 2 情報を共有し現状を見極める！

地域林業の課題を的確に捉え必要な打開策を見出すためには、林業普及指導員が持つ様々な情報やデータを関係者と共有することが重要と考えていましたが、そのような機会がなかなか無く、模索しているところでした。



**市町村スケールで課題に向き合う場がなかった！**

そんな折、岩手県林業改良普及協会主催のオーストリア森林技術研修に管内の林業事業者である(有)道又林業さんの職員が参加することとなりました。同社は平成27年度から地域けん引型林業経営体として取組みを進めており、地域森林経営プランの中で、地域の関係者で情報共有し連携を進めることを目標の一つとしており、これが当方の思惑と一致したことから、その報告会を兼ねて地域林業フォーラムを共催することとなりました。

### 3 地域林業フォーラムの開催

平成28年1月28日、林業事業者を中心に木

材加工業、建設業、国有林を含む行政機関等、総勢36名の参加の下、地域林業フォーラム「魅力ある林業の創造に向けて」を開催しました。参加者にはいつもの協議会や会議と異なり、若手が多くみられたのも特徴的でした。

フォーラムは報告1「地域林業の現状と課題」、報告2「オーストリア森林技術研修を終えて」、「意見交換」の3部構成で、報告1と意見交換を林務室が、報告2を(有)道又林業の野邑真路さんが担当しました。



意見交換会の様子

意見交換会は、報告1, 2終了時にアンケートを回収し、それを基に進行了しました。その結果、地域の課題として、再造林率の低さや森林経営計画の推進、山林境界の確認などが、オーストリア研修から得た知識として、労働災害もコスト増につながることで、木質バイオマスの熱供給システムが木材を必要と感じるきっかけになること、魅力ある林業のためには教育や防護衣の格好よさも重要であることなどが挙げられていました。

また、このようなフォーラムで行政が行っていることを知るだけでも意識改善につながるという意見もあり、参加した皆さんの意欲の高まりを感じ取ることができました。